

働く場所でも、遊ぶ場所でもない。  
みんなが集まって「ほっ」と出来る、  
そんな場所にしたい。



(NORA・早稲田圭)



「母の味」で人気の日替わり定食から、喫茶店ならではのコーヒーやクリーミーなソーダまでが楽しめる、喫茶のらのメニュー。

江田島市で子育てがしたいと思ったからだそう。圭さんは、本職である設計業で補いながら、宿泊業と飲食業を運営、奥さんの慶乃さんは、女将業だけでなく、ヨガやSUPのインストラクターとしても活躍している。1日1組限定の民宿「体験民宿 NORA」を2020年に立ち上げ、「喫茶のら」を2021年にオープンさせた。民宿は元々観光客向けに始めたものだったが、宿泊客の中には江田島市で新しく何かを始めたいと話す人や、地域の方々と交流したいという人も多くいた。「お客様のお話を聞いて、もっと地元の人たちとのかかわりを増やすため、民宿だけではなく喫茶店も始めようと思いました。たくさん的人が繋がる場所になればいいな」と、僕は地元出身なので、観光客だけじゃなく、江田島市に住む皆さんや、江田島市へ仕事で来ている皆さんに温かいごはんや美味しいコーヒーを楽しんでほしいと思つたんです」

圭さんは、今日を楽しみながら、前へ進んでいる。  
「島を愛する圭さんと、いつでも元気いっぱいの奥さんは、今日を楽しみながら、前へ進んでいる。  
「面白くない」は「面白くことができる」

圭さんの故郷への想いと前向きな行動は、コロナ禍の中でも多くの人を惹きつける。近所に住むおじいちゃんやおばあちゃん、お昼休憩に駆け込むように店に入る働く人たち、情報交換を求めて訪れる市外の人たち：「僕はこの場所を、相談窓口まで固くはないけど、誰でも気軽に話をしに来れる場所にしたいんです。もちろん、人を呼び込もうだけではなくて、そのあとをどうフォローしていくか。訪れるみんなが『ほっ』とできる、そんな存在になればいいですね」

島から一度出たからこそ、江田島市の魅力を改めて感じた。地元の知人や友人たちが言っていた「島は面白くない」という言葉を聞いて「じゃあ、これから面白い場所にしていく」と決心した圭さん。地元のことだけでなく、外に出たからこそわかる経験や視点を活かして、自分の役割を見出し、自分たちだからできることを楽しみながら実行していくその姿には、周りの人も感嘆するほどだ。「島を楽しみながら働きまくる旦那と、島を楽しみながら遊びまくる妻。それでいいんじゃないですかね(笑)」

**ACCESS**

中町港から三高方面へ海沿いの道をまっすぐ歩く約5分。小さな橋を渡ったら、左手にある大きな家がNORAです。

**【車でお越しの方】**

三高方面に進む途中で赤い自販機が見えたらすぐ左に曲がると、駐車場があります。

お問い合わせ：070-4030-0684



# ETAJIMA Go ON!

Vol.1

What is NORA?  
「NORA」ってこんなところ



Vol.1  
能美町・中町

NORA  
早稲田圭

みんながほっと  
出来る場所を目指して。